

2015年7月6日 第79号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター

文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)

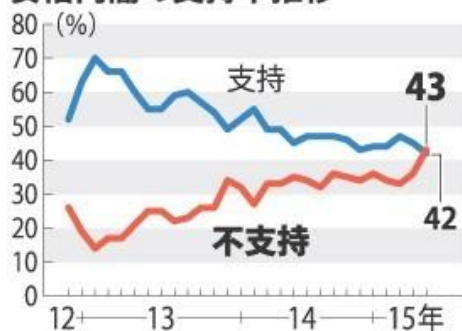
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

自民党不支持、支持を上回る！

圧倒的世論で採決強行を

ストップさせよう！

安倍内閣の支持率推移



毎日新聞は4、5両日、全国世論調査を実施した。安倍内閣の支持率は5月の前回調査から3ポイント減の42%、不支持率は同7ポイント増の43%で、2012年12月の第2次安倍内閣発足後初めて、支持と不支持が逆転した。政府・与党が衆院通過を急ぐ安全保障関連法案については、国民への説明が「不十分だ」との回答が81%に上った。会期延長した今国会で安保法案を成立させる方針にも61%が

「反対」と答え、「賛成」は28%にとどまった。(7月6日付毎日新聞より)

お知らせ

毎週火曜日全国いっせい宣伝

7月7日 東京は12カ所で開催

- ①新宿駅東口 18:00～19:00 全商連、自由法曹団、民青同盟、全国革新懇、日本共産党
 - ②茗荷谷駅前 12:30～13:15 新婦人、農民連、憲法会議
 - ③巣鴨駅前 18:00～19:00 自治労連
 - ④西新橋一丁目交差点 17:30～18:15 (毎週開催) 国公労連
 - ⑤JR四ツ谷駅前 12:15～13:00 (7月7日のみ、以降は18:00～19:00) 全教
 - ⑥上野駅マルイ前 18:00～19:00 全労連、
全労連加盟単産 (自治労連・国公労連・全教・年金者組合以外)
 - ⑦御茶ノ水駅前 18:00～19:00 全日本民医連
 - ⑧大塚駅前 12:30～13:00 (毎週開催) 東京地評、年金者組合 (以上、憲法共同センター)
- ※戦争をさせない1000人委員会＝JR大井町駅前、JR品川駅前、解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会＝JR新宿駅西口、有楽町イトシア前で開催します。
- ※憲法共同センター構成団体、その他の団体、個人で参加していただける方は、上記のお近くの宣伝にご参加ください。

国会周辺、全国に呼びかける当面の行動

(主催団体名のないものは総がかり行動実行委員会主催)

9日(木)

- ◆「9の日宣伝行動」12時～13時 新宿駅西口 主催：憲法共同センター、東京憲法共同センター
- ◆戦争法案反対！強行採決許すな！国会前座り込み行動 10時～17時 衆議院第2議員会館前～参議院議員会館前
- ◆とめよう戦争法案国会前木曜連続行動(第8回) 18時30分～19時30分
衆議院第2議員会館前～参議院議員会館前
- ◆院内学習会「安全保障法制」を問う part 2 12時～13時 衆議院第1議員会館多目的会議室
報告＝長谷部恭男早稲田大学教授、那須弘平弁護士・元最高裁判事、国会議員発言、署名提出 主催＝日弁連

10日(金)

◆戦争法案反対！強行採決許すな！国会前座り込み行動 10時～17時 衆議院第2議員会館前～参議院議員会館前

◆集团的自衛権にNO！101人女性弁護士大集合&街頭宣伝

集会＝16時～17時 弁護士会館502会議室 ゲスト小林節慶応大学名誉教授、雨宮処凛

街頭宣伝＝17時30分～18時30分 有楽町交通会館前

主催＝東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会 共催＝日弁連

12日(日)

◆意見広告掲載 朝日新聞、東京新聞

13日(月)

◆強行開催反対！戦争法案廃案7・13中央公聴会抗議行動 8時30分～
衆議院第2議員会館前

14日(火)

◆戦争法案廃案！強行採決反対！7・14大集会・国会請願デモ

集会＝18時30分～ 日比谷野音 国会請願デモ＝18時45分出発

◆止めよう！戦争法案7・14集会 意思統一と署名提出 15～17時 砂防会館

国会情勢報告：日本共産党国会議員、発言：各団体の取り組み

主催：憲法共同センター

15日(水)

◆戦争法案廃案！強行採決反対！国会前座り込み行動 13時～17時

衆議院第2議員会館前～参議院議員会館前

◆戦争法案廃案！強行採決反対！国会正門前大集会 18時30分～20時 国会正門前を中心に

◆シンポジウム・安全保障法制の問題点を考える 18時～20時 弁護士会館2F「クレオ」

講演＝半田滋東京新聞論説委員兼編集委員、井筒高雄元自衛隊レンジャー隊員

リレートーク＝浅田次郎日本ペンクラブ会長、岡田武夫日本カトリック司教協議会会長・東京教区大司教、菅原文子、住江憲勇保団連会長、山口宏弥 JAL 不当解雇撤回原告団パイロット団長

主催＝日弁連 共催＝東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会、関東弁護士会連合会

16日(木)

◆戦争法案廃案！強行採決反対！国会前座り込み行動 13時～17時 衆議院第2議員会館前～参議院議員会館前

◆戦争法案廃案！強行採決反対！国会正門前大集会 18時30分～20時 国会正門前を中心に
(木曜連続行動＝第9回を兼ねる)

17日(金)

◆戦争法案廃案！強行採決反対！国会前座り込み行動 13時～17時 衆議院第2議員会館前～参議院議員会館前

◆戦争法案廃案！強行採決反対！国会正門前大集会 18時30分～20時 国会正門前を中心に
(他団体・行動と調整の必要あり)

18日(土)

◆アベ政治を許さない！全国一斉行動 13時～ 鳥越俊太郎さん、澤地久枝さんらの呼びかけに協力 東京では国会正門前を中心に

各地域・団体のとりくみ

「ねりま集会&パレード」に約1000人 若者、母親、元復員兵、元自衛隊員が訴え

安倍政権の「戦争法案」に反対する市民たちの集会とデモ「ねりま集会&パレード」が7月1日夕刻、東京都練馬区内で行われ、区民ら約1000人が参加した。同区は自衛隊駐屯地があり、自衛隊員の家族が多く

暮らしているという。

集会では、埼玉大学名誉教授で教育評論家の暉峻淑子さんがスピーチを行い、次のように訴えた。

「紛争地での難民支援活動では迷彩服を着た海外の軍人よりも、非武装の日本人の支援が喜ばれる。日本の平和憲法は世界中で知られている。だからこそ東日本大震災後、かつての紛争地の人々が『恩返しだ』と募金してくれた。これが本当の国際協力ではないか。ドイツに『会話が続けている間は殴りあいはい起こらない』ということわざがある。安倍政権は戦争法案を成立させて、殴り合いをしようとしている。黙っているのは安倍政権を支持すること。何か一つでもできることをしなければならない」

呼びかけ人のアニメ映画監督、高畑勲さんも参加。アニメの映画音楽がトランペットで奏でられる演出もあった。それに合わせて踊る子どもの姿もみられるなど、参加者の笑顔が多く見られた。

初めてパレードに参加したという練馬区在住の大学生は「高畑勲さんの映画『火垂るの墓』を小さい頃に見て、戦争はいやだと思うようになった。その高畑さんが賛同しているということで集会に初めて参加した。若い参加者がもっと増えてほしい」と語った。

〈参加者の訴え〉

若者に情報伝え続ける／黒田朝陽さん（学生9条の会）

ブラックバイトで働かされたり、奨学金返済に苦しんだりしている若者は多い。生活困窮から自衛隊に入る人が増えるのではないかと。「経済的徴兵制」だと思う。

渋谷で中高生に戦争法案についてアンケートを行った。「分からない」という人が大多数だった。情報が届いていない。最初は「賛成」「分からない」と言っていた人でも、説明すると「武力行使はだめ」「戦争はやはりいやだ」と意見を変えた。反対の声はたくさんあると感じる。こうした声を可視化していきたい。

しんがりでも声をあげる／望月達雄さん（元復員兵）

1945年、18歳のとき徴兵された。「本土決戦が目前だ」といわれ、鳥取で受けた軍事訓練が、砂浜に穴を掘るという作業。「ソ連兵が日本海を渡って攻めてくる。戦車の上陸を阻止するためにお前たちは爆弾を背負って穴に隠れろ。戦車が来たらその前に飛び出せ」と命令された。死ななければならないと思っていたから、玉音放送を聞いてもよくわからなかった。

復員、復学して勉強をしながら戦争の怖さが分かってきた。88歳になり最前線で反対運動はできないが、しんがりにしがみついても声をあげていきたい。

人を殺さない国を息子に／扇田梨絵子さん（主婦）

戦争法案をつぶすまで路上に出て歩き続ける。小学生の息子が大人になったときに、「お母さん、あのとき何してたの」と聞かれて目を見て答えられない母にはなりたくない。息子を育てているのは、彼が将来誰かを愛し愛されて、豊かで平和な人生を送ってもらうため。罪のない人を殺すためではない。今まで9条に守られてきた私たちが、これからは9条を守っていかなければならない。

保革の枠を超えて／井筒高雄さん（元陸上自衛隊レンジャー部隊員）

現状では防衛予算が年間5兆円。海外で戦争するようになれば、その倍はかかるようになる。教育や福祉のための予算がカットされるだろう。安倍自公政権がろくに議論せずに「戦争法案」を成立させるのは法治国家としてめっちゃくちゃだ。保革の枠を超えて、「戦争はだめ」と言う人が力を合わせよう。

（7月4日付連合通信隔日版より）